

～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

地域資源創成学部・研究科 地域資源創成学科・課程・専攻 1年（氏名:井上めぐみ）

○派遣: ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

○派遣期間: 2016年 8月 16日 ～ 2016年 9月 17日

○渡航時の学年: 1年次

○渡日前の手続について

・参加に至った経緯について:

もともと、海外留学に興味があり、大学からのプログラムを探していたところ、ニュージーランドの留学について掲示板で知り、参加に至った。

・渡航に関する手続について:

参加申し込みの手続きは、向こうの大学の資料に英語で自分の情報や、ホームステイ先の希望調査などを記入した。

・査証取得:

なし

★体験記:

渡航費用は、帰りの飛行機がシルバーウィークと重なったことと、日にちの決定が遅かったこともあり、230500円と高額になった。生活費はバス代が約7000円弱(1日往復約330円)。大学は図書館などでとても勉強しやすい環境が整っていた。授業内容は、general English の場合、音楽や犯罪、職業などある特定のテーマについて Listening, Reading, Speaking, などの分野別に勉強し、要約の練習として Writing を行ったこともある。また、最終週には、街中で犯罪についてのインタビューを行い、その結果を Power Point にまとめて、プレゼンテーションを行ったりもした。IELTS の授業では、Speaking はほぼ毎日あり、だいたい週ごとに Writing, Reading, Listening などの分野ごとに、実際に IELTS の問題を解いてみたりして、練習を行った。Speaking では、自分の Speaking 能力と周りの学生との実力の差が顕著で、自分の実力のなさを思い知らされ、はじめは本当に辛かったが、だんだんと慣れてきて少しは改善できたと思う。また、ホームステイ先では、なかなか聞き取れないことが多かったり、英語にはない日本語表現など、とっさに英語にできずうまく伝えられないもどかしさを感じたりして、話すことをためらったりもしたが、やはりどんなことであれ、自分から積極的に会話しようという行為自体が重要なのだと感じた。学生は積極的でやる気のある人が多い印象があるが、先生と生徒の距離が近く、特に general English の方はとても楽しく勉強できた。

今回の留学で、本当に自分の英語力不足を感じたので、これからもっと勉強してもう一度リベンジしたいと思った。とても良い経験ができ、充実した夏休みとなった。

～宮大生のための海外渡航～

○生活費:

渡航費: 23500 円 食費: 約 6000 円

○ホームステイ先の環境:

ごく普通の一般家庭で設備も整っていて問題はなかった。食事は毎回とてもおいしかった。家族はホストマザー、ホストファザー、12歳の男の三人家族だった。

私が一番気になったのは、食器洗いの時に洗剤を使ってブラシでこすって洗ってそのまま洗剤を流さず布巾で拭き取るだけだったことと、猫のえさ入れと人間の食器を一緒に洗っていたこと、飼い猫二匹が外を出歩いたまま部屋の中に入ってきて、ベッドの枕元や、机の上に登ってきたりして、宿題のプリントが泥だらけになったことなどである。

それ以外は、家族は皆親切で満足している。



～宮大生のための海外渡航～



○大学のサポート状況:

ランゲージセンターのスタッフの方々はとても親切な良い方々ばかりだった。

○授業の様子:

上記体験記と同様

授業内容は、general English の場合、音楽や犯罪、職業などある特定のテーマについて Listening, Reading, Speaking, などの分野別に勉強し、要約の練習として Writing を行ったこともある。また、最終週には、街中で犯罪についてのインタビューを行い、その結果を Power Point にまとめて、プレゼンテーションを行ったりもした。IELTS の授業では、Speaking はほぼ毎日あり、だいたい週ごとに Writing, Reading, Listening などの分野ごとに、実際に IELTS の問題を解いてみたりして、練習を行った。

どちらの授業も、クラスメイトとペアを組んで自分の意見を述べたり、宿題の答え合わせをしたりと、相手とコミュニケーションをとりながらグループワークのようなことをすることが多かった。

～宮大生のための海外渡航～



○他の留学生たちの様子:

アジア系の留学生が多く、とくに中国人が多かった。ただ、タイやサウジアラビア、メキシコ、ドイツなどから来ている学生もいた。人数はよくわからない。日本人以外の留学生は、ほとんど英語のspeaking能力が高かった。

○現地学生との交流:

ほとんど現地学生との交流はなかったが、朝にランニングをしている学生をよく見かけ、放課後は図書館で勉強する学生も多かった。

○街の様子:

大学の近くには街があり、スーパーやショッピングモール、レストランなどもあり、あまり不便さは感じなかった。大学までの交通手段はバスだったが、停留場所がバス内で表示などの案内はないため、初日は全くわからず困った。時間通りにバスが来なかったり、行き過ぎてしまったこともあり、アバウトなところも海外らしいと感じた。

○その他:

○今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

私の場合、日常会話の勉強をもっとしていけばよかったと思ったので、普通の英語の勉強はもちろん、日常会話も勉強しておけば、ホストファミリーとのコミュニケーションがスムーズにいくと思います。また、留学先の国や地域についてしっかり事前に調べて頭に入れておくべきだと思います。ホームステイは特に現地の生活を現地の方とできるのでとても良いと思います。ホームステイはなくても、留学は、日本とは全く異なる場で異なる言語を使って生活、勉強するので大変さがありますが、それを乗り越えられれば、自分の自信にもなり、これからの人生に大きくプラスになるとても良い機会になると思うので、是非頑張ってください。